

平成20年度

事業報告書

(平成20年4月1日から平成21年3月31日まで)

I. 学校法人の概要

1. 経営理念と経営目標
2. 経営戦略（総合的方策）と行動計画
3. 役員等の状況
4. 設置学部等、学生・生徒数、教職員数
5. 学校法人の沿革

II. 事業・投資活動の概要

1. 定常的事業
2. 重点的事業
3. 施設等の投資活動
4. 学部・学科等設置、組織変更、名称変更等
5. 諸活動の成果等

III. 財務の概要

1. 監査手続
2. 資金収支計算結果の概要
3. 消費収支計算結果の概要
4. 貸借対照表の概要
5. 今後の財務運営の課題
6. 計算書類

学校法人福岡工業大学

I. 学校法人の概要

1. 経営理念と経営目標

本学園は、学園を取り巻く厳しい環境の中で、様々な課題に対して主体的、機動的に対応していくため、平成10年度以降、マスタプラン（経営計画）を策定し、3カ年ごとに実施結果の総括と次期への見直しを継続し、諸施策を具現化してきました。この中で、経営理念及び経営目標を、建学の綱領に基づいて次のとおり定めています。

①経営理念 For all the students ～ すべての学生生徒のために

②経営目標 情報・環境・モノづくり領域で教育研究力を発揮し、広く社会に貢献する。

これらは、すべての教職員が行う教育、研究及び社会貢献等の諸活動における判断基準とともに行動規範となるものです。

2. 経営戦略（総合的方策）と行動計画

経営目標を具現化し、それらの目標を達成するための基本戦略は次の①～⑤のとおりです。これらに基づいて、各設置校、学部・学科、事務局等が自主・自律的に単年度行動計画（アクションプログラム）を様々に策定し、PDCA（plan - do - check - action）サイクルによる目標管理によって、計画実現性を高め、継続的な改善と成果の拡大に努めています。

①学園の ima（今）：information & message from academia を伝える広報・募集活動によって、志願者の増加を図る。

②丁寧な教育を徹底し、教育付加価値を向上させる。

③情報・環境・モノづくりを中心とする領域で特色ある研究を展開し、学園のステータスアップを図る。

④就職支援を充実し、学生生徒の満足度を向上させる。

⑤財政基盤の強化と組織の活性化によって、計画実現を図る。

3. 役員等の状況

近年、私立学校法始め私学関連諸法規の改正によって諸規制の緩和、競争原理の導入が図られています。学校法人に対して、自主性尊重の一方で、経営の自己責任や主体的改善が強く求められ、理事会・評議員会等の権限や役割が明確化されました。

本学園では、この趣旨に沿って、寄附行為の変更等によって理事会機能を強化し、一方で業務執行や財産状況のチェック強化を主たる目的として、監査法人と監事の連携強化、監事の増員等によって監査機能の充実を図っています。

役員（理事、監事）には公的機関、地元財界等から学識経験者、企業経営者を、また、評議員には、卒業生及び学生のご父母を招請し、豊富な経験と高い見識によって、社会の要請に即ち迅速・的確に答えることを目指しています。

なお、当年度の、理事会等の業務執行及び財務運営の監査において、後述（23頁「Ⅲ.財務の概要1.監査手続」）のとおり、私立学校法、私学振興助成法及び学校法人会計基準に則して適正に行われていることの確認がなされています。

当年度の役員等の状況は、以下（次頁）のとおりです。

(3月31)日現在

役員等区分	定数	実数	選任条項別実数*1
理事	9～13	9	1号2名、2号1名、3号6名
監事	2～3	3	
評議員	19～27	21	1号4名、2号3名、3号3名、4号11名

*1 1号理事：学長・校長、2号理事：評議員、3号理事：学識経験者

1号評議員：学長・校長・教職員、同2号：卒業生、同3号：父母、同4号：学識経験者

4. 設置学部等、学生・生徒数、教職員数

(1) 学生・生徒数

(5月1日現在)

設置学部等	H20年度 学生・生徒数				H21年度 学生・生徒数		
	定員	現員	H19現員	前年比較	定員	現員	前年比較
福岡工業大学	3,520	4,166	4,204	▲38	3,520	4,347	181
工学部	1,360	1,675	1,680	▲5	1,360	1,773	98
電子情報工学科	320	411	398	13	320	403	▲8
生命環境科学科	320	351	342	9	320	378	27
知能機械工学科	400	525	525	0	400	553	28
電気工学科	320	388	415	▲27	320	439	51
情報工学部	1,360	1,601	1,628	▲27	1,360	1,674	73
情報工学科	480	629	610	19	480	642	13
情報通信工学科	320	332	353	▲21	320	354	22
情報システム工学科	320	351	384	▲33	320	363	12
システムマネジメント学科	240	289	281	8	240	315	26
社会環境学部・社会環境学科	660	741	750	▲9	660	753	12
工学研究科（修士）	116	122	126	▲4	116	120	▲2
工学研究科（博士）	12	14	14	0	12	12	▲2
社会環境学研究科（修士）	12	13	6	7	12	15	2
福岡工業大学短期大学部	320	298	300	▲2	320	300	2
情報メディア学科	210	172	189	▲17	210	181	9
ビジネス情報学科	110	126	111	15	110	119	▲7
福岡工業大学附属城東高校	1,650	1,722	1,516	206	1,650	1,788	66
(合計)	5,490	6,186	6,020	166	5,490	6,435	249

(2) 教職員数

(4月1日現在)

設置学部等	教育職員	前年比	事務職員	前年比
福岡工業大学*1	142	▲4	85	▲1
福岡工業大学短期大学部	16	▲1	5	1
福岡工業大学附属城東高校	73	0	6	0
(合計)	231	▲5	96	0

*1 大学教育職員の学部別人数 工学部 59名、情報工学部 55名、社会環境学部 28名

(2)

5. 学校法人の沿革

(1) 沿革

年 月	学校、学部等の開設、名称変更等
昭和 29 年 4 月	福岡高等無線電信学校創設
昭和 33 年 4 月	学校法人福岡電波学園福岡電波高等学校開設
昭和 36 年 4 月	福岡電子工業短期大学開設
昭和 38 年 4 月	福岡電波学園電子工業大学開学、同工学部開設
昭和 41 年 4 月	大学の名称を「福岡工業大学」に変更 短期大学の名称を「福岡工業短期大学」に変更
昭和 48 年 9 月	法人の名称を「学校法人福岡工業大学」に変更
昭和 49 年 8 月	高校の名称を「福岡工業大学附属高等学校」に変更
平成 5 年 4 月	大学院工学研究科（修士課程）開設
平成 9 年 4 月	大学に情報工学部を開設
平成 11 年 4 月	大学院工学研究科（博士後期課程）開設
平成 13 年 4 月	大学に社会環境学部を開設 高校の名称を「福岡工業大学附属城東高等学校」に変更
平成 14 年 4 月	短期大学の名称を「福岡工業大学短期大学部」に変更
平成 17 年 4 月	短期大学部電子情報システム学科を情報メディア学科に、OA 情報システム学科をビジネス情報学科に名称変更
平成 19 年 4 月	大学院社会環境学研究科（修士課程）開設

(2) 校舎等の竣工

年 月	施設・設備等の名称、用途等
昭和 61 年 6 月	本部棟竣工（法人本部・事務局、図書館、エクステンションセンターなど） 附属高校体育館竣工（武道場を含む）
昭和 61 年 7 月	附属高校校舎竣工
昭和 63 年 3 月	新宮総合グラウンド 竣工（野球場、ラグビー・サッカー場）
平成 3 年 1 月	1号館（現C棟）竣工（情報工学部、学生ホールなど）
平成 5 年 3 月	女子寮（コスモ寮）竣工
平成 11 年 2 月	α棟竣工（モノづくりセンター、キャリアサポートセンター、自習室、多目的ホールなど）
平成 12 年 10 月	FITアリーナ竣工（多目的ホール兼体育館、トレーニングセンター）
平成 13 年 2 月	A棟竣工（工学部、社会環境学部など）
平成 15 年 10 月	新学生寮（坦心寮）竣工
平成 16 年 1 月	B棟竣工（情報工学部、短期大学部、情報処理センター、研究所、学生サービスセンターなど）
平成 16 年 7 月	D棟竣工（工学部、情報工学部、工作センターなど）
平成 21 年 1 月	附属高校校舎内外装全面改修、増築（生徒数増加に伴う教室増、バリアフリー化など）